

オフィス向け通信機器の取り付け工事などを手掛けるコネクト＝秋田市川尻大川町、中村猛留（たける）社長＝が、インターネットや電話の利用料金の一部を障害者

支援などの寄付金に充てられる還元型通信サービス「コネクト光」を販売している。ビジネスと社会貢献を結び付けた支援の仕組みとして、広めていきたい考えだ。

光回線事業・コネクト（秋田市）

# 通信料の一部 寄付金に

コネクト光は、NTT東日本などが提供する「フレッツ光」と同じ光ファイバー回線を使用。寄付金額は料金プランに応じて、固定料金の1割程度を充てる仕組み。先月から販売を始めた。

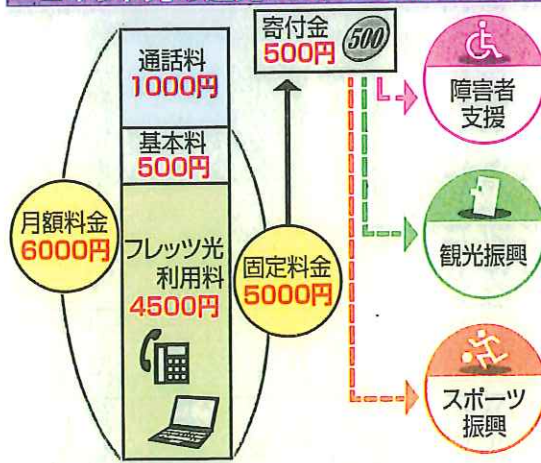
例えば、家庭でインターネットと固定電話の両方を使う一般的な料金プランの場合、フレッツ光利用料4

500円、光電話の基本料500円に、通話料が加算された金額が月々請求される。仮に通話料が千円だとすると、コネクトに支払う月額料金は6千円。このうち、固定料金5千円分の1割、約500円が寄付金となる。

## 社会貢献へ新プラン

料金はフレッツ光をNTT東日本と直接契約した場合と同じで、利用者は通常の月額料金を支払うだけで社会貢献が可能となる。コネクトにとっては、寄付金が利益から差し引かれる形になるが、中村社長は「利用者は変わらない負担

コネクト光の還元システムのイメージ



支援先は今のところ、障害者支援施設などを運営する一羊会（秋田市）や、身寄りのない子どもが生活する感恩講児童保育園（同市）、地域の観光協会などを予定しており、利用者は支援先を一つだけ選べる。今後は、プロスポーツチームや地域活性化に取り組む市民団体などにも支援の輪を広げていく方針だ。

寄付金額や使用用途はコネクトのホームページと公式フェイスブックで知らせる。中村社長は「『コネクト光』を通じた支援は一過性のものではなく、継続して行えるのが特徴。支援先の提案があれば積極的に検討したい」と話している。

コネクト光の申し込みや問い合わせはコネクトお客様さまサポート係018・8503・9610

（千葉園子）